

庁 議 事 項

① 令和2年7月豪雨埼玉県民義援金について

【危機管理防災部】

② 令和2年上半期の刑法犯の認知・検挙状況(暫定値)

【警察本部】

令和2年7月豪雨 埼玉県義援金について

令和2年7月豪雨により、九州から東北地方までの各地で記録的な大雨となり、甚大な被害が発生しています。

この災害による被災者の方々を支援するため義援金を募集していますので、皆様の御協力をお願いいたします。



埼玉県民義援金

募集期間

令和2年7月14日(火)から9月30日(水)まで

埼玉りそな銀行(県庁支店) ・ 武蔵野銀行(県庁前支店)

普通 4749925

普通 1048194

口座名：令和2年7月豪雨埼玉県民義援金(両銀行とも)

埼玉県職員義援金

募集期間

令和2年7月14日(火)から8月31日(月)まで

埼玉りそな銀行(県庁支店)

普通 4749933

口座名：令和2年7月豪雨埼玉県職員義援金

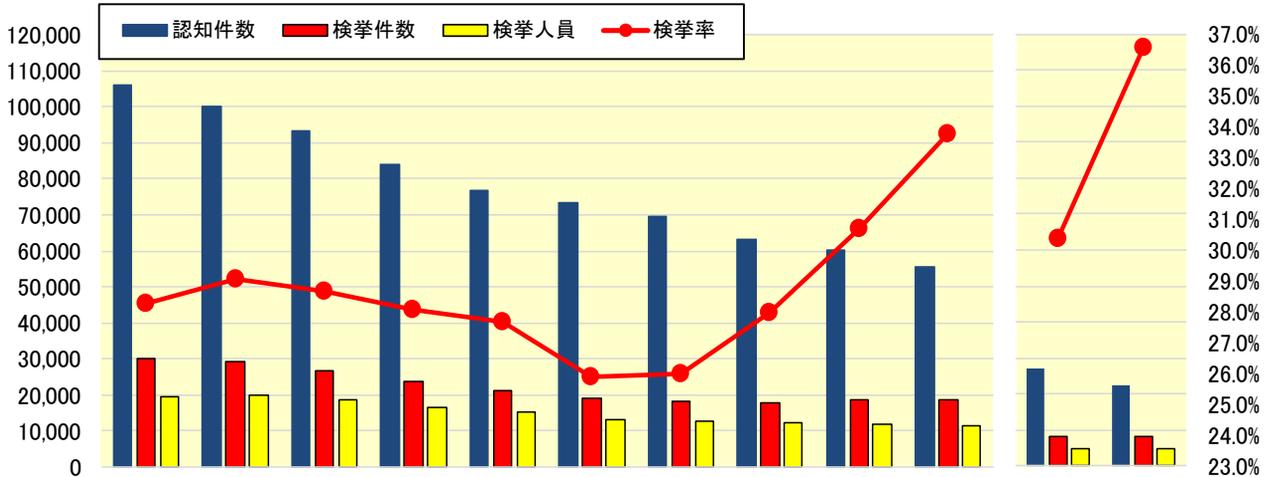
- ・ 同じ銀行から振り込む場合は、振込手数料はかかりません。
- ・ お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通じ、被災程度に応じて被災地へ配分されます。

令和2年上半期の刑法犯の認知・検挙状況(暫定値)

警察本部

1 刑法犯

	認知件数				検挙件数				検挙人員				検挙率		
	R1.6末	R2.6末	増減		R1.6末	R2.6末	増減		R1.6末	R2.6末	増減		R1.6末	R2.6末	増減
			件	%			件	%			人	%			
刑法犯	27,116	22,576	-4,540	-16.7%	8,231	8,257	26	0.3%	4,959	4,992	33	0.7%	30.4	36.6	6.2



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R1.6末	R2.6末
認知件数	106,228	100,253	93,157	84,154	76,857	73,456	69,456	63,383	60,001	55,497	27,116	22,576
検挙件数	30,048	29,126	26,704	23,689	21,300	19,056	18,051	17,776	18,433	18,750	8,231	8,257
検挙人員	19,296	19,672	18,681	16,510	15,190	13,260	12,739	12,078	11,877	11,297	4,959	4,992
検挙率	28.3%	29.1%	28.7%	28.1%	27.7%	25.9%	26.0%	28.0%	30.7%	33.8%	30.4%	36.6%

認知状況

- 認知件数は22,576件。16.7%減少（平成17年以降の減少傾向を維持）。
- 人口1,000人当たりの犯罪率は3.1件。全国3位。

検挙状況

- 検挙率は36.6%（前年同期比6.2ポイント増加）。平成元年以降最高。

2 重要犯罪

(殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐・人身売買、強制わいせつ)

	認知件数			検挙件数			検挙人員			検挙率		
	R1.6末	R2.6末	増減									
重要犯罪	377	292	-85	308	279	-29	250	230	-20	81.7	95.5	13.8
殺人	40	42	2	35	41	6	32	37	5	87.5	97.6	10.1
強盗	75	73	-2	73	62	-11	69	53	-16	97.3	84.9	-12.4
放火	18	14	-4	11	16	5	11	14	3	61.1	114.3	53.2
強制性交等	37	35	-2	28	31	3	20	29	9	75.7	88.6	12.9
略取誘拐・人身売買	7	20	13	5	15	10	5	15	10	71.4	75.0	3.6
強制わいせつ	200	108	-92	156	114	-42	113	82	-31	78.0	105.6	27.6

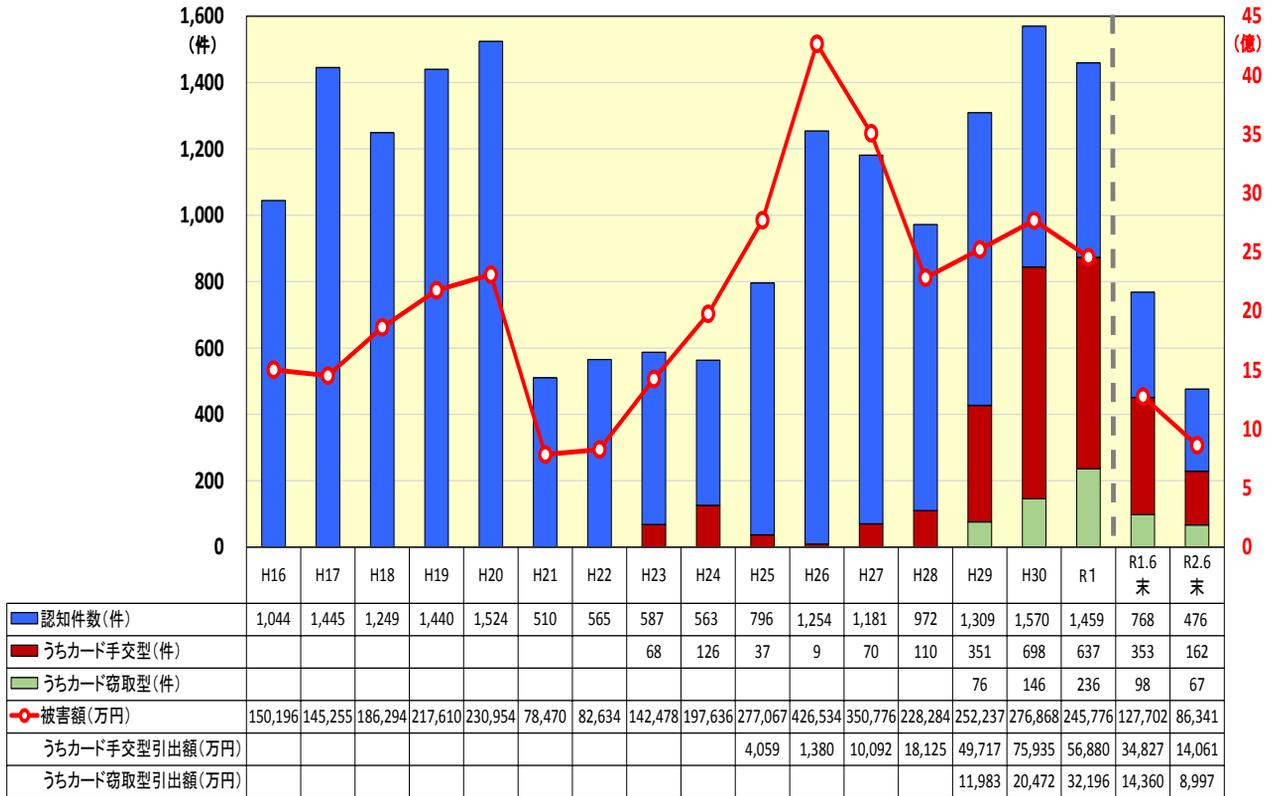
認知状況

- 認知件数は292件。85件（22.5%）減少。
- 強制わいせつが大幅に減少。

検挙状況

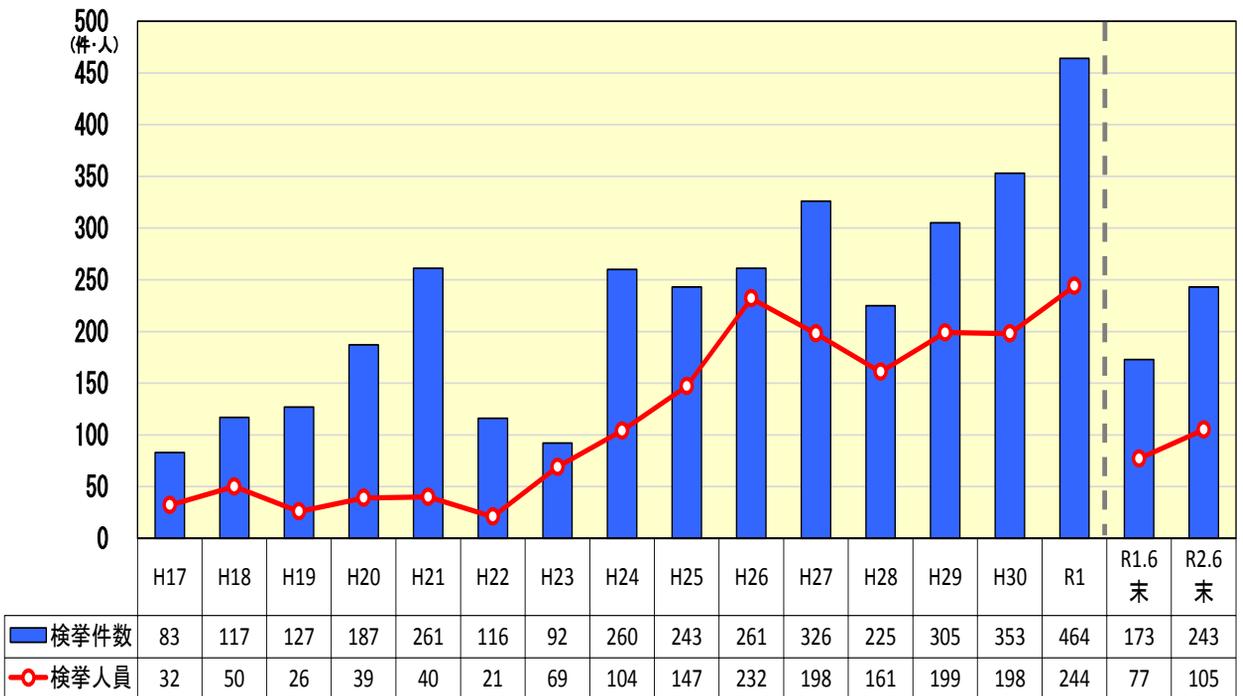
- 検挙率は95.5%（前年同期比13.8ポイント増加）。平成8年（92.2%）以来の90%台。

3 特殊詐欺 認知状況



- ※ カード手交型は、キャッシュカード手交型の認知件数（平成23年以降、統計あり）
- ※ カード窃取型は、キャッシュカード窃取型の認知件数（平成29年以降、統計あり）
- ※ 平成25年以降の被害額は、キャッシュカード手交型でだまし取られたキャッシュカードによって不正に引き出された金額を含む。
- ※ 平成29年以降の被害額は、キャッシュカード手交型・窃取型でだまし取られたり、盗みとられたキャッシュカードによって不正に引き出された金額を含む。
- ※ 千円単位切捨て。

検挙状況



認知状況

- 認知件数は476件。前年同期比292件減少。
- キャッシュカード被害（手交型・窃取型）が被害全体の約5割（229件）。
- 65歳以上の高齢者被害が8割以上（85.5%）。女性被害が約7割以上（74.4%）。

検挙状況

- 検挙件数は243件。前年同期比70件増加。
- 検挙人員は105人。前年同期比28人増加。
- 検挙件数・人員ともに統計のある平成17年以降最多。
- 犯行拠点を3か所摘発。

水際防止状況

防止区分	令和2年上半期			
	件数	前年比	金額	前年比
水際防止	493	±0	30,311万円	−19,761万円
金融機関	120	−100	17,287万円	−19,413万円
ホットライン活用	94	−91	16,445万円	−18,597万円
コンビニエンスストア	120	+51	1,608万円	+516万円
家族・知人等	126	+47	9,367万円	+1,134万円
防災無線	13	−10	0万円	−1,000万円
その他	114	+12	2,048万円	−999万円

注）防止金額は1万円未満切り捨て。その他は警察官、自治体職員等

- 水際防止件数は493件、前年同期比±0件。
- 金融機関による水際防止が減少する一方、コンビニエンスストア店員及び家族・知人等による水際防止が増加。
(コンビニエンスストアの水際防止は平成23年以降最多)